

国際交流で友達の輪広がる オーストラリア・カラマンダ高校と交流

語学力の向上や異文化交流などを目的とした国際交流事業として、オーストラリア・カラマンダ高校の生徒15名が4月19日から5日間、養父市を訪れました。

この事業は13年前から始まり、同校と八鹿高等学校大屋校が交流をしていましたが、その2年後には大屋中学校も加わり、お互いのまちを訪れ交流を深めているものです。

4月19日夕方に大屋公民館に到着した一行は、ホームステイ先の家族の方たちから歓迎を受けました。翌日からは、八鹿高等学校大屋校や大屋中学校を訪れ、餅つきや茶道といった日本文化を体験。ホームステイ先での生活と合わせて、両国の子どもたちにとって貴重な体験をした5日間となりました。



歓迎式で自己紹介をする生徒ら

▶「三角巾包帯法」競技に挑む鉢伏スキーパ
トロール隊



迅速で的確な技術を競う

鉢伏スキーパトロール隊が技術競技大会で好成績

第20回スキーパトロール技術競技大会が3月26日・27日、長野県志賀高原夜間瀬スキー場で開催され、ハチ高原スキー場などで活動している鉢伏スキーパトロール隊（森本美吉隊長・21人）が出場しました。鉢伏スキーパトロール隊は、西日本から唯一の参加で通算4回目の出場でした。同大会は、各チーム4人1組で室内競技の「三角巾包帯法」「ロープ操法」の2種目、雪上競技の「アキヤボート搬送競技」「総合滑降」の2種目を行い、それぞれの順位と総合順位を争うものです。けが人を搬送する際に使用される「アキヤボート搬送競技」では、けが人役を乗せたアキヤボートを前後から支えながらグレンデを滑走し、タイムを競いました。この競技では、同隊が昨年に引き続き見事1位の成績をおさめ、総合成績でも過去最高の6位の成績でした。これからも、安心して滑降できるスキー場づくりに向けてご活躍ください。

地域の産業発展に向けて 養父市商工会が発足

市内4商工会（八鹿町・養父町・大屋町・関宮町）が合併し、4月1日に養父市商工会として新たにスタートしました。

同日、本所となる旧八鹿商工会館で関係者ら約50人が出席し開所式が行われました。式典では、池田勅則会長が「経済団体として地域のニーズに応じた事業活動を展開していきます」とあいさつ。来賓として出席した梅谷馨市長は「特色ある4商工会が合併するにあたっては多くのご苦労があったと思います。経済が低迷している中、市内の産業発展のためにご活躍をお願いします」と祝辞を述べました。式典後には、事務所前で銘板の除幕式が行われ、養父市商工会のスタートを祝いました。

同会の会員数は約1200人。旧八鹿商工会館を本所とし、それ以外の3商工会館は支所として運営されます。



事務所の銘板を除幕する関係者ら